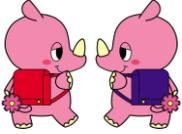




原っ子つうしん

教育目標：～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

令和5年
3月24日(金)
印西市立原小学校
校長室便り
〈第11号〉



令和4年度 卒業式



やわらかな日差しを受けて、校庭の木々や草花が芽吹き、春の訪れを感じる季節となりました。

3月17日、令和4年度卒業式が行われ、175名の卒業生が原小学校を巣立っていきました。

振り返ってみると、コロナ禍での生活が続き、学校行事の中止や縮小、その他様々な制限がある中での学校生活でした。原小学校の高学年としてもっともっと活躍する場があったはずなのにと、申し訳なく思います。そんな中でしたが、6年生は1年生の給食や掃除の手伝いをしたり、冬の寒い早朝に外掃除をして学校のために進んで働いたりしてくれました。本当に下級生の良い手本でした。

以下は、「校長式辞」の一部です。

最後に、もう一つ伝えたいことがあります。それは、これからも優しい人であり続けてほしいということです。近くに困っている人がいたら声をかけ、自分に何かできることはないか考えてほしいのです。優しくされた人は、してもらったように、他の人に優しくすることでしょう。こうして「優しさの連鎖」が生まれるのです。「優しさの連鎖」は、やがて平和へとつながります。これから広い世界へと旅立つ卒業生の皆さん、優しさの輪を広げ、平和な世界を創り上げていってください。



修了式にて



本日の修了式の中で、以下のように「思いやりのある人は素敵」という話をしました。

みなさん、これは何と読むでしょう？そうです。これは「おもいやり」と読みます。私は、この「思いやり」という言葉が大好きです。「思い」とは、気持ちということです。「遣り」とは、そちらに自分の心を向けるという意味です。ですから、「思いやり」というのは、自分の気持ちを相手に向けるという意味になります。しかし、自分の気持ちを相手に向けるだけで良いというわけではありません。なぜならば、「思いやり」は、声をかけたり、励ましたり、優しくしたりするなど、まずは行動することが大切だからです。また、時にはそっとしておいたり、注意したりすることもあるのです。このように、「思いやり」というのは、相手の立場になって、どうすることが一番良いのかをよく考えて行動することなのです。私は、そんな「思いやり」のある人に出会うと、「本当に素敵だなあ。」と感じます。皆さんも、これまで以上に「思いやり」のある素敵の人になってください。

次に皆さんと会うのは、ちょうど2週間後の4月7日金曜日です。クラス替えがあるので、一人でも多くの友達と仲良くなって、新しい気持ちで勉強や運動など頑張ってください。

保護者の皆様、地域の皆様に支えられ、本年度を無事終えることができました。心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。